

離散数学入門 c

担当：内田 幸寛

講義の内容

離散数学とは、有限あるいは離散的な対象を扱う数学の一分野であり、計算機科学などの基礎として重要である。この講義では、離散数学の基礎を、特別な予備知識をほとんど仮定せず講義する。

講義計画は以下の通りである。ただし、状況に応じて変更することがある。

第 1 回 集合	第 8 回 環・体・ブール代数
第 2 回 関係の定義と性質	第 9 回 グラフの定義
第 3 回 同値関係・順序関係	第 10 回 グラフの性質
第 4 回 論理・命題	第 11 回 グラフと行列
第 5 回 関数・写像	第 12 回 グラフの応用
第 6 回 数え上げ	第 13 回 まとめと期末試験
第 7 回 一般の代数系・群	

テキスト・参考書等

テキスト 宮崎佳典・新谷誠・中谷広正『理工系のための離散数学』東京図書, 2013.

参考書 石村園子『やさしく学べる離散数学』共立出版, 2007.

小倉久和『はじめての離散数学』近代科学社, 2011.

守屋悦朗『離散数学入門』サイエンス社, 2006.

成績評価方法

期末試験 60%, レポート等 40% で総合的に評価する。

ウェブページ

<http://www.comp.tmu.ac.jp/y-uchida/lectures/2020idmc/>

講義に関する情報をここと kibaco に掲載する。

質問受付方法

- オフィスアワー：8号館 6階 667室，火曜日 4時限（14:40～16:10）
- メール (yuchida@tmu.ac.jp) でも質問を受け付ける。

注意

- この講義はコース・学科別にクラス編成を行っているので、履修の手引で指定されたクラスで受講すること。
- 講義の一部で線形代数の基礎的内容を用いる。